

2016年3月期 第2四半期決算報告

2015/11/13

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

第一生命

- 当第2四半期累計の連結業績は、増収・増益。プロテクティブ社の業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が主な要因。国内外における保険販売も堅調に推移。
- 当第2四半期累計の窓販業績を踏まえ、連結経常収益の通期予想を上方修正。第一生命単体における順ぎやの拡大を踏まえ、基礎利益の通期予想を上方修正。
- 2015年9月末のグループ・エンベデッド・バリューは、5.6兆円。金融環境の悪化を背景に前期末比で減少したが、第一フロンティア、TAL、プロテクティブ社のEVは増加(現地通貨ベース)。

■ 子会社業績の貢献により、連結経常収益・連結経常利益・連結純利益⁽¹⁾ともに前年同期比で増加

(億円)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計 (a)	前年同期比	
			増減額	増減率
連結経常収益	34,627	36,833	+2,205	+6%
第一生命単体	22,568	21,049	△1,518	△7%
連結経常利益	2,343	2,412	+68	+3%
第一生命単体	2,240	1,840	△399	△18%
連結純利益 ⁽¹⁾	1,233	1,351	+118	+10%
第一生命単体	1,167	909	△257	△22%

<参考>

	2015/5/15 発表予想	2015/11/13 発表予想 (b)	進捗率(a/b)
連結経常収益	67,730	70,960	52%
第一生命単体	41,240	42,010	50%
連結経常利益	3,690	3,690	65%
第一生命単体	3,010	3,010	61%
連結純利益 ⁽¹⁾	1,610	1,610	84%
第一生命単体	1,190	1,190	76%

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。

■ 堅調な保険販売と、プロテクティブの連結効果が業績に貢献

連結損益計算書(要約)⁽¹⁾

(億円)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減
経常収益	34,627	36,833	+2,205
保険料等収入	25,869	27,900	+2,030
資産運用収益	7,120	7,100	△19
うち利息・配当金等収入	4,105	5,305	+1,200
うち有価証券売却益	1,111	1,297	+185
うち特別勘定資産運用益	1,700	-	△1,700
その他経常収益	1,637	1,832	+194
経常費用	32,284	34,421	+2,136
うち保険金等支払金	15,689	19,664	+3,975
うち責任準備金等繰入額	11,097	5,571	△5,525
うち資産運用費用	579	3,982	+3,403
うち有価証券売却損	55	337	+282
うち有価証券評価損	5	57	+51
うち金融派生商品費用	45	228	+182
うち特別勘定資産運用損	-	1,208	+1,208
うち事業費	2,812	3,258	+446
経常利益	2,343	2,412	+68
特別利益	7	1	△6
特別損失	128	116	△11
契約者配当準備金繰入額	464	457	△6
税金等調整前中間純利益	1,758	1,839	+81
法人税等合計	524	487	△36
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,233	1,351	+118

連結貸借対照表(要約)

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
資産の部合計	498,372	498,888	+515
うち現預金・コール	12,538	11,521	△1,016
うち買入金銭債権	2,658	2,509	△148
うち有価証券	411,054	412,131	+1,077
うち貸付金	38,981	38,021	△960
うち有形固定資産	12,170	12,131	△39
うち繰延税金資産	13	13	△0
負債の部合計	462,472	468,673	+6,200
うち保険契約準備金	425,470	431,153	+5,683
うち責任準備金	416,347	422,206	+5,859
うち退職給付に係る負債	3,313	3,348	+35
うち価格変動準備金	1,362	1,454	+92
うち繰延税金負債	6,433	3,606	△2,827
純資産の部合計	35,899	30,214	△5,684
うち株主資本合計	10,296	11,012	+716
うちその他の包括利益累計額合計	25,594	19,192	△6,402
うちその他の有価証券評価差額金	25,282	18,902	△6,380
うち土地再評価差額金	△334	△342	△8

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。

第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【米プロテクティブ】 ⁽¹⁾⁽²⁾			【豪TAL】 ⁽²⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万米ドル)			(百万豪ドル)			(億円)		
	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比
経常収益	22,568	21,049	△7%	10,779	10,406	△3%	--	3,472	--	1,585	1,626	+3%	34,627	36,833	+6%
保険料等収入	14,954	14,071	△6%	9,558	9,919	+4%	--	2,130	--	1,382	1,449	+5%	25,869	27,900	+8%
資産運用収益	5,888	5,459	△7%	1,220	486	△60%	--	1,149	--	99	14	△85%	7,120	7,100	△0%
経常費用	20,327	19,209	△6%	10,737	10,082	△6%	--	3,282	--	1,489	1,550	+4%	32,284	34,421	+7%
保険金等支払金	12,745	13,631	+7%	2,077	2,960	+43%	--	1,865	--	916	937	+2%	15,689	19,664	+25%
責任準備金等繰入額	3,018	267	△91%	8,097	4,106	△49%	--	929	--	211	168	△21%	11,097	5,571	△50%
資産運用費用	585	1,624	+178%	31	2,446	+7,587%	--	60	--	18	90	+398%	579	3,982	+587%
事業費	2,006	2,015	+0%	476	510	+7%	--	308	--	287	301	+5%	2,812	3,258	+16%
経常利益	2,240	1,840	△18%	41	324	+678%	--	189	--	96	75	△21%	2,343	2,412	+3%
特別利益	4	1	△73%	--	--	--	--	--	--	--	--	--	7	1	△82%
特別損失	120	104	△13%	7	12	+55%	--	--	--	--	0	--	128	116	△9%
純利益 ⁽³⁾	1,167	909	△22%	27	286	+957%	--	126	--	71	56	△22%	1,233	1,351	+10%

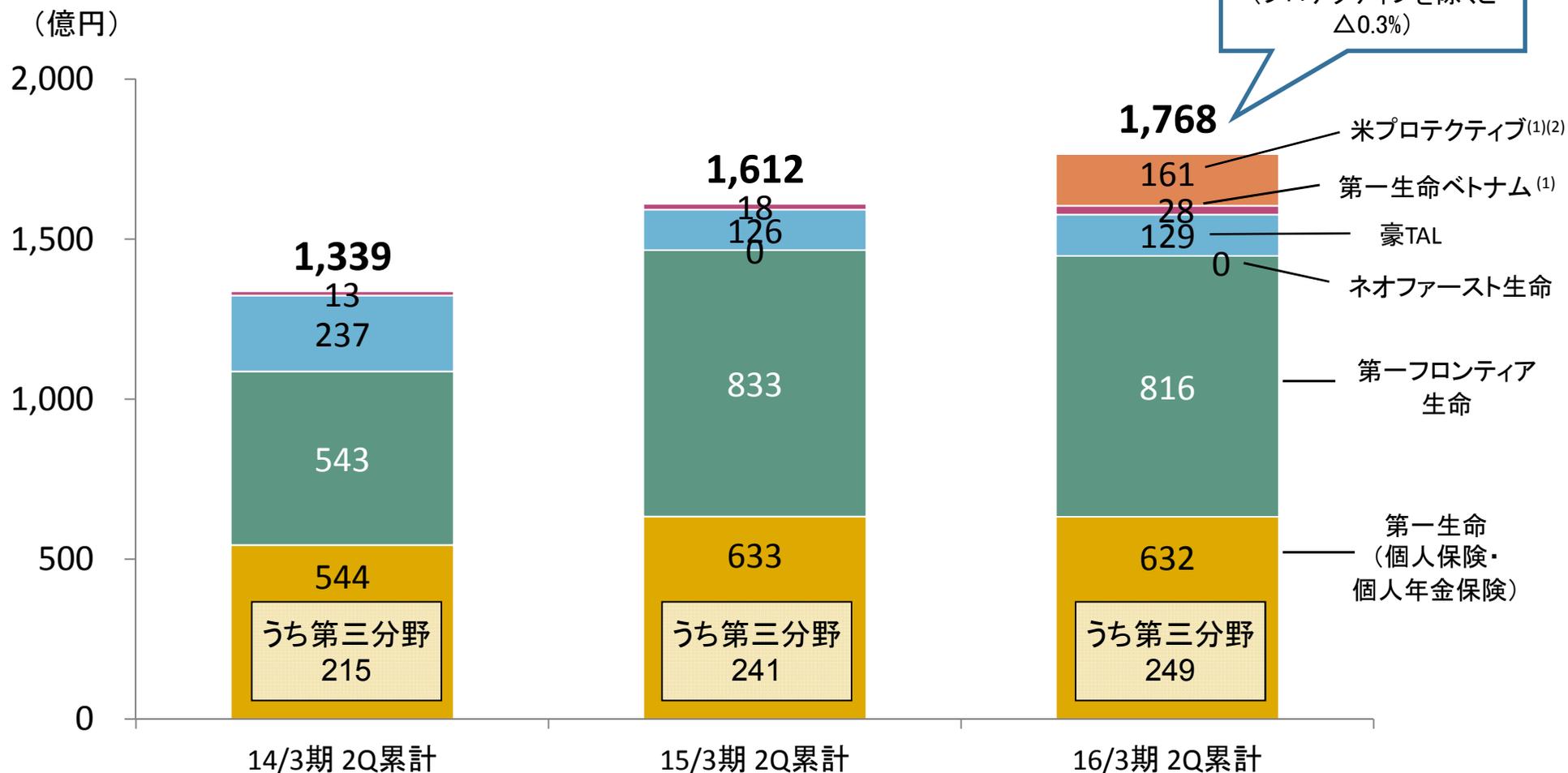
(1) 米プロテクティブの数値は、2015年2-6月の実績です。

(2) 米プロテクティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。当第2四半期より、米プロテクティブの財務諸表の組替えに際し、投資性商品の一部の保険料、保険金等の表示方法の変更を行いました。なお、経常収益、経常費用がそれぞれ同額減少するため、経常利益の額に変動はありません。連結の際には、それぞれ1米ドル=122.45円、1豪ドル=95.19円(15/3期2Q)、84.06円(16/3期2Q)で円換算しています。

(3) 連結純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

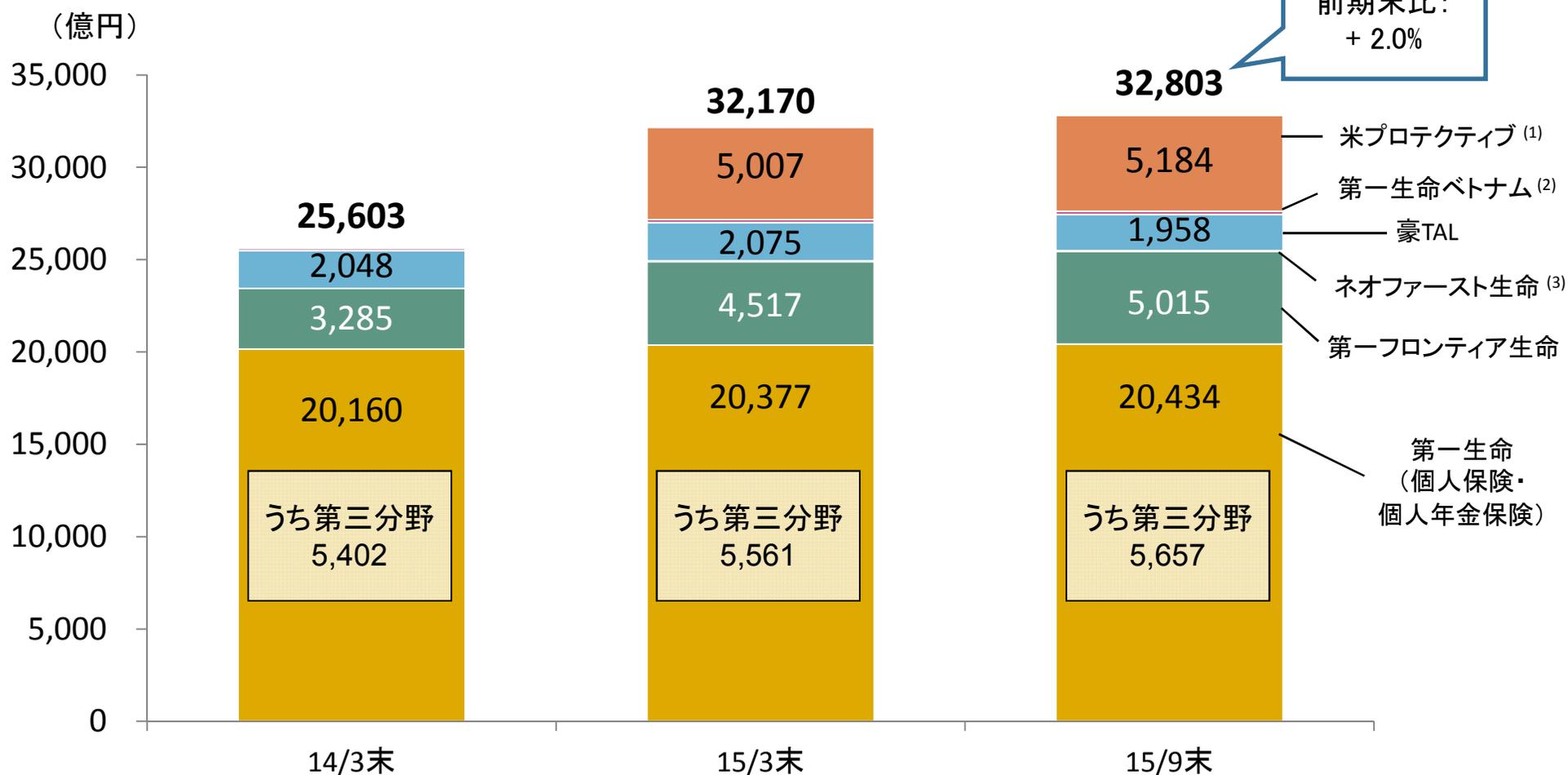
第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 米プロテクティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。
 (2) 米プロテクティブの実績は、16/3期 2Qのみを記載しています。
 (3) ネオファースト生命の実績は15/3期7-9月、16/3期2Qのみを記載しています。

第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの保有契約年換算保険料



(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。

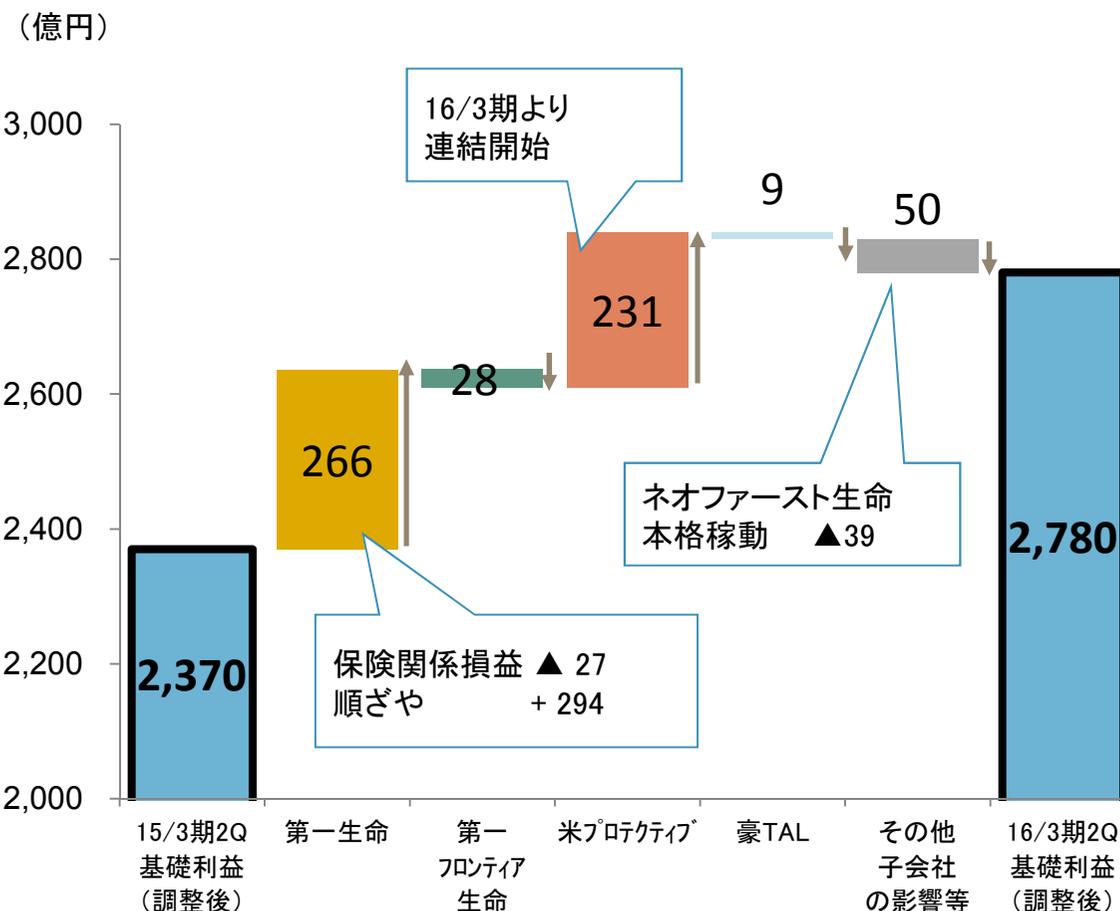
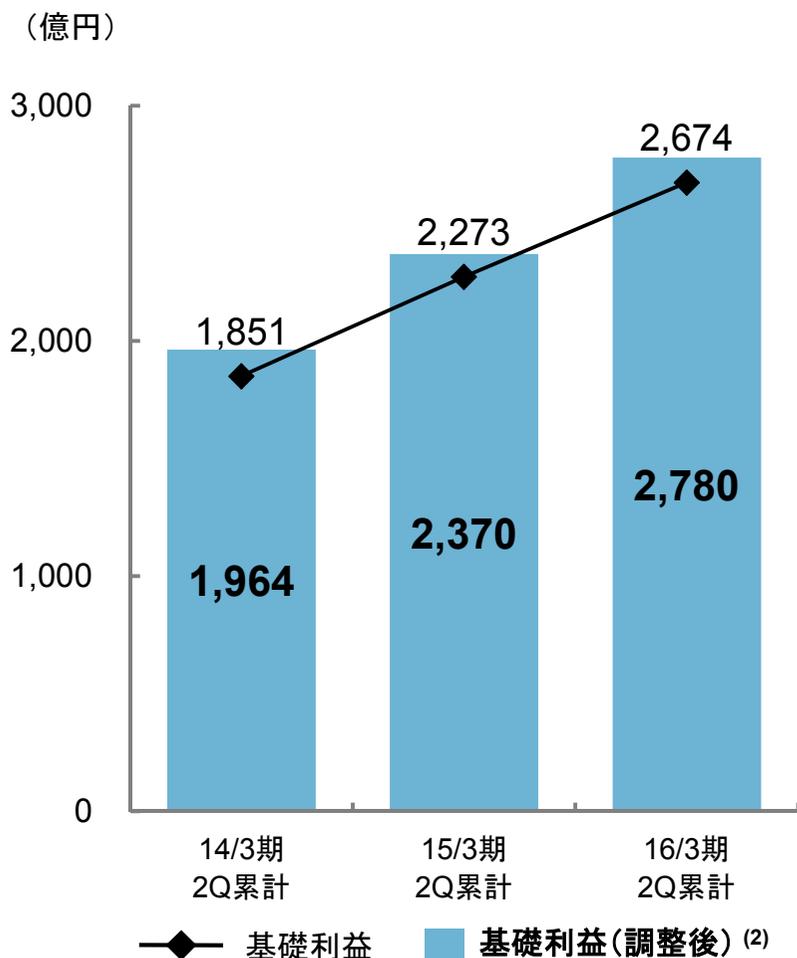
(2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。14/3末、15/3末、15/9末の実績はそれぞれ108億円、155億円、174億円です。

(3) ネオファースト生命については、完全子会社化以降の実績を記載しています。15/3末、15/9末の実績はそれぞれ37億円、36億円です。

第一生命グループ業績 - 基礎利益の状況

基礎利益 (1)(2)

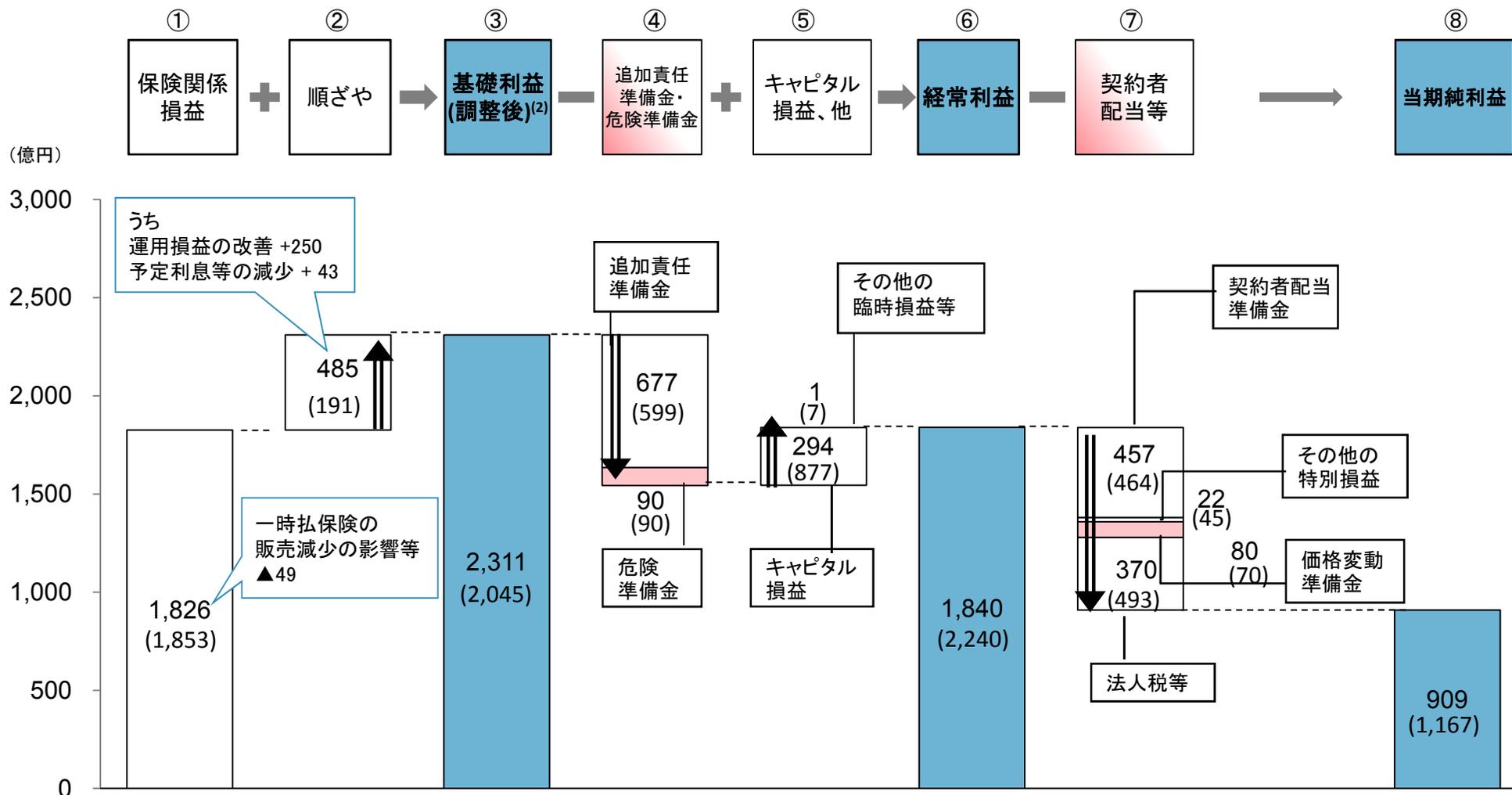
基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期7-9月、16/3期2Qのみ)の基礎利益、米プロテクトイブ(16/3期2Qのみ)の税引前営業利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。
ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

第一生命単体業績 - 当期純利益の状況⁽¹⁾



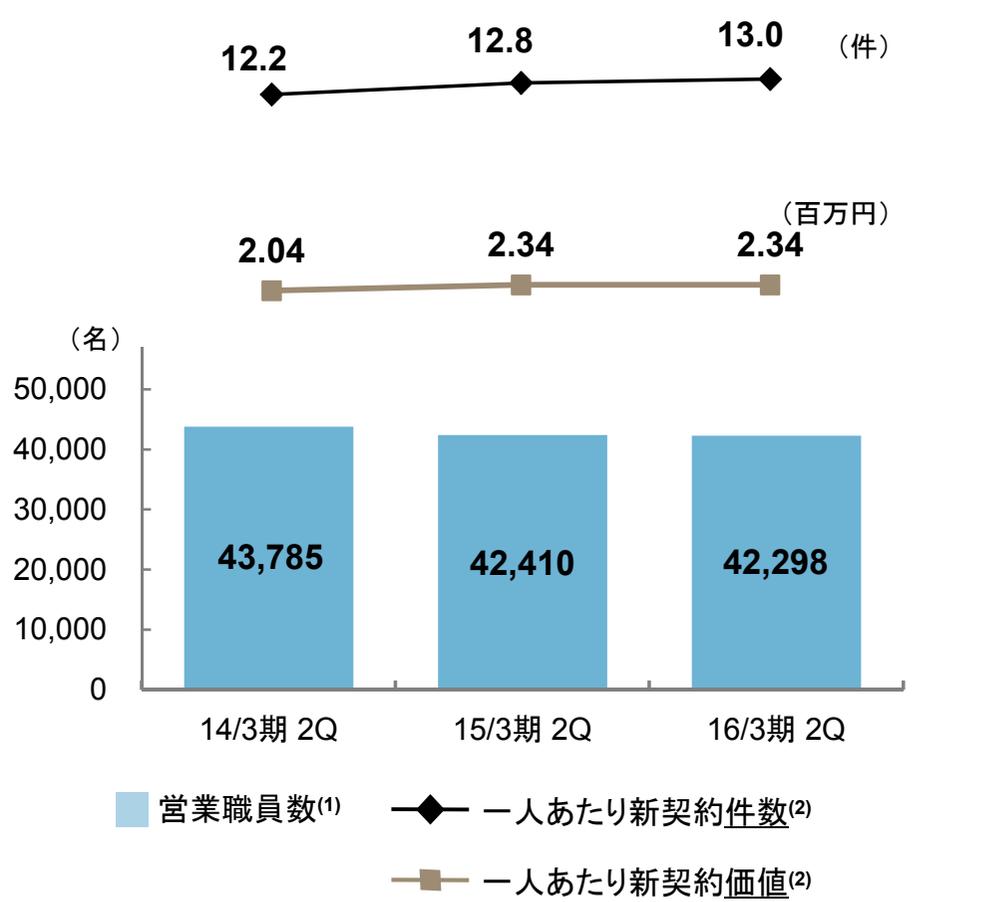
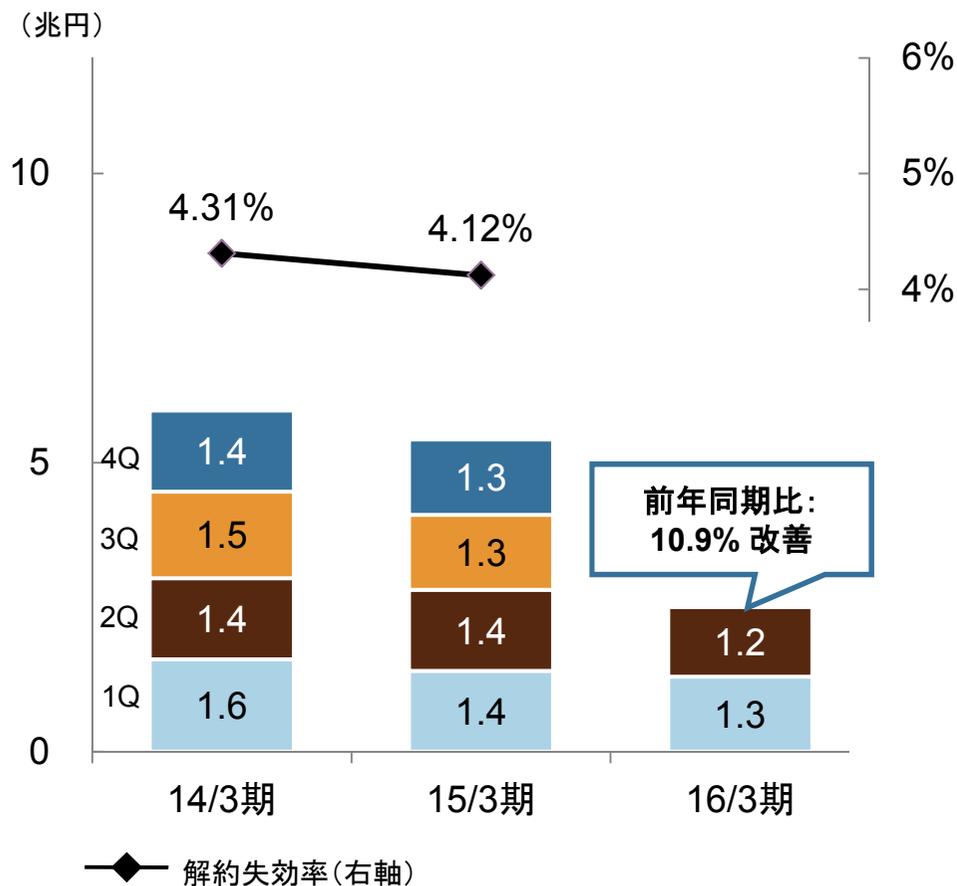
(1) 前年同期の数値を()内に記載しています。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

第一生命単体業績 - 解約失効高、営業職員数

解約失効高(個人保険・個人年金)

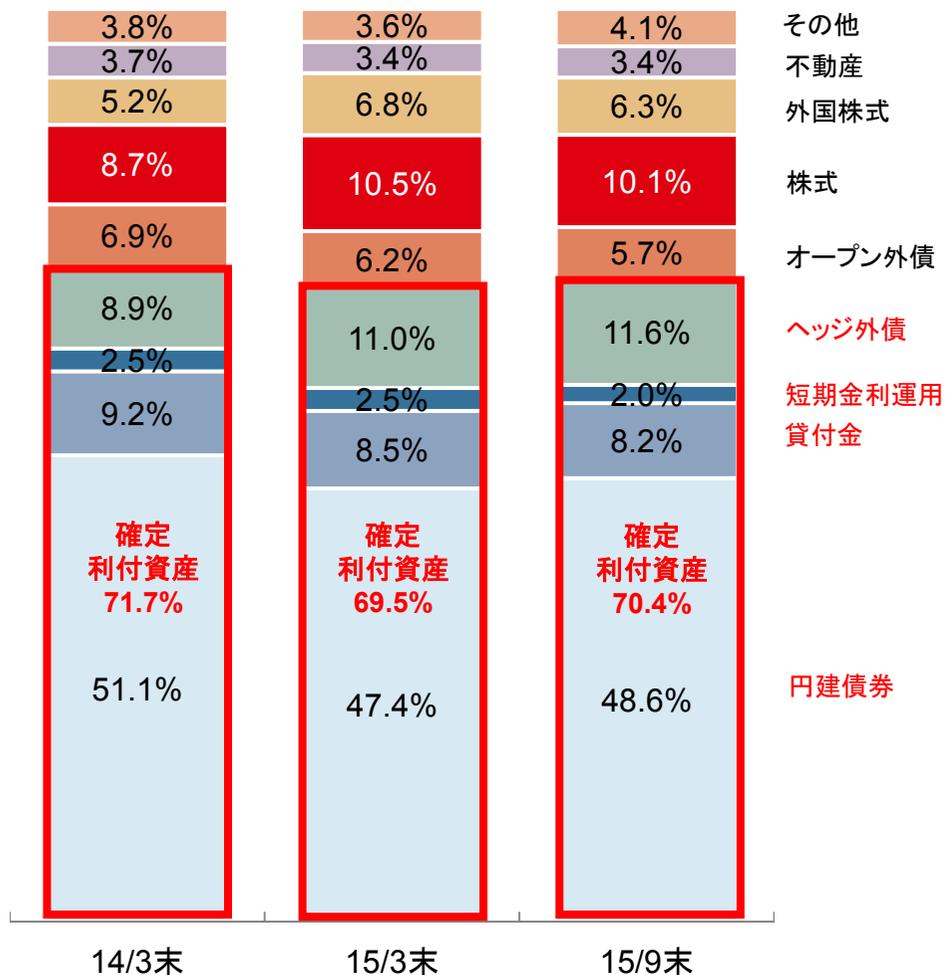
営業職員数および生産性



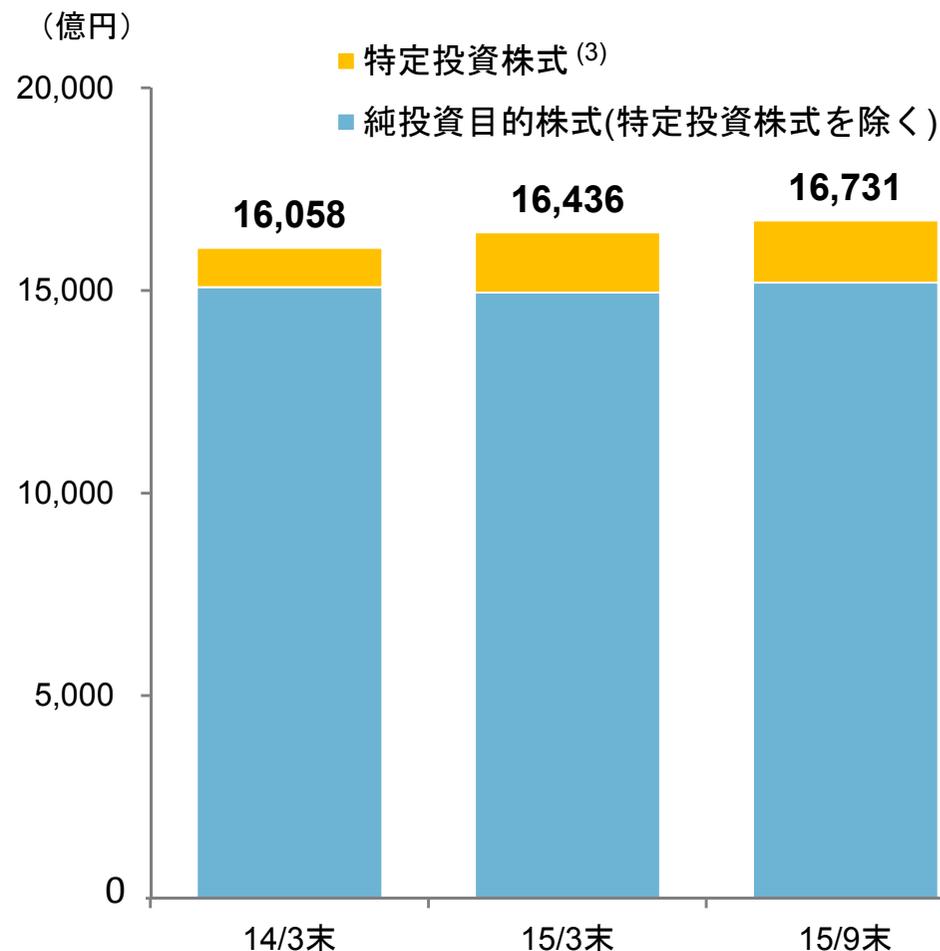
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
 (2) 各期間における新契約価値及び新契約件数を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況

資産の構成(一般勘定) (1)

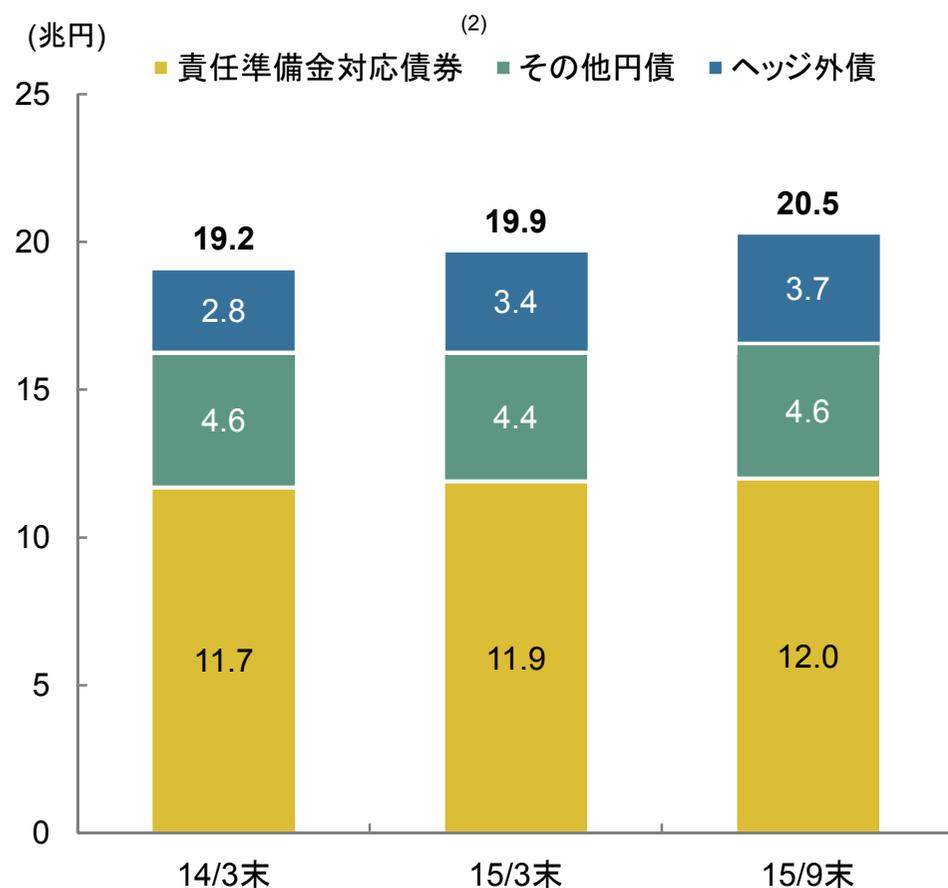


国内株式の簿価 (2)

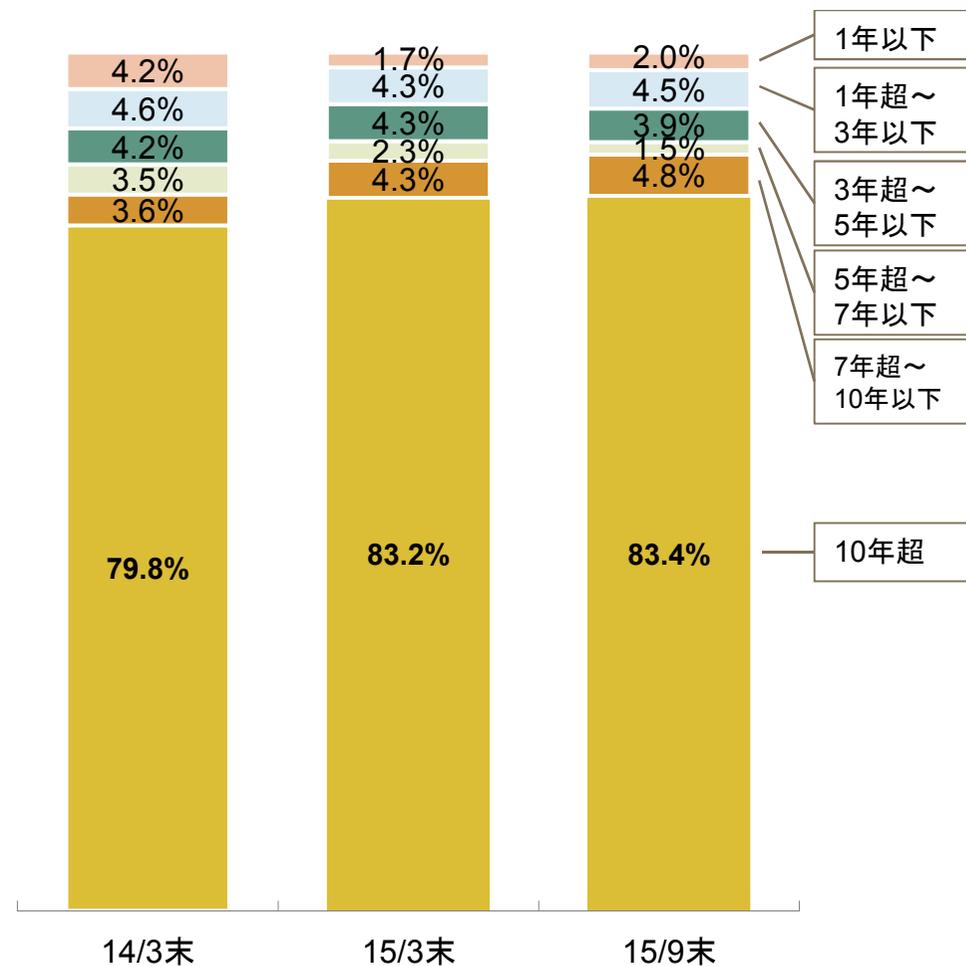


- (1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。
 (3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

債券の積み増し状況 (1)



国内債券の残存期間 (3)



(1) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象とする。簿価ベース

(2) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められている。

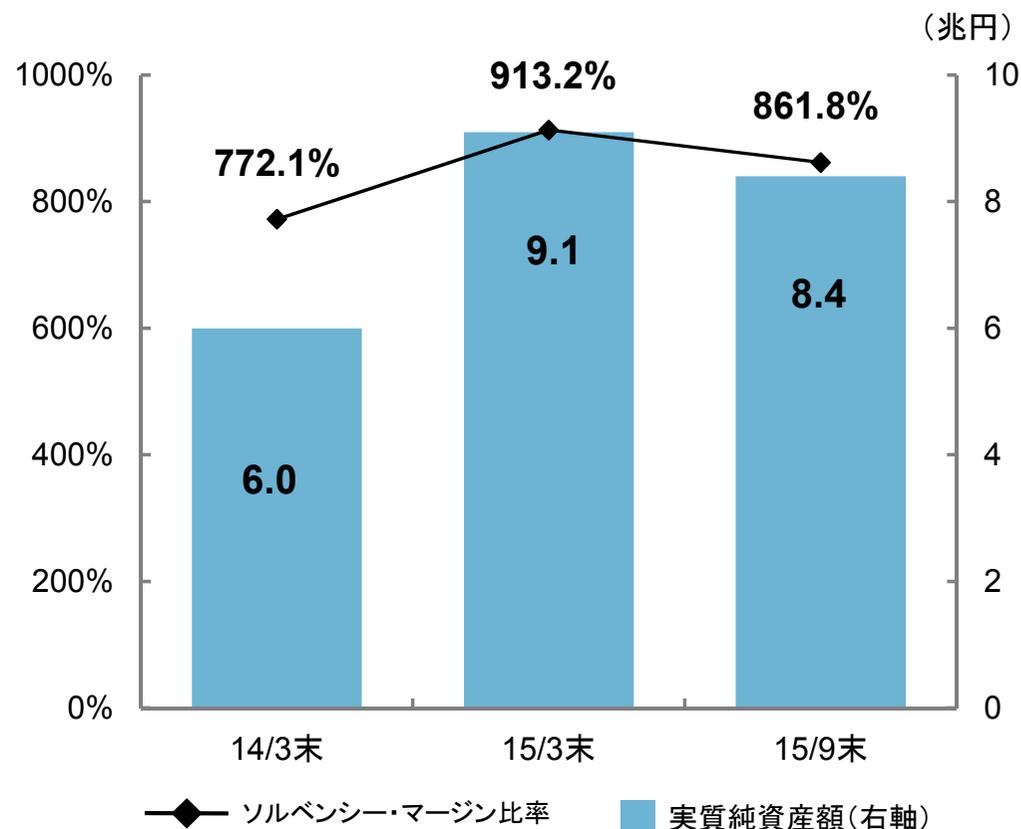
(3) 一般勘定資産のうち国内債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

含み損益(一般勘定)

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
有価証券	54,917	47,216	△7,700
国内債券	22,368	22,168	△200
国内株式	17,856	15,148	△2,708
外国債券	10,116	7,254	△2,861
外国株式	3,892	2,329	△1,562
不動産	755	847	+91
その他共計	55,507	47,914	△7,592

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:
2015年9月末 740.1%

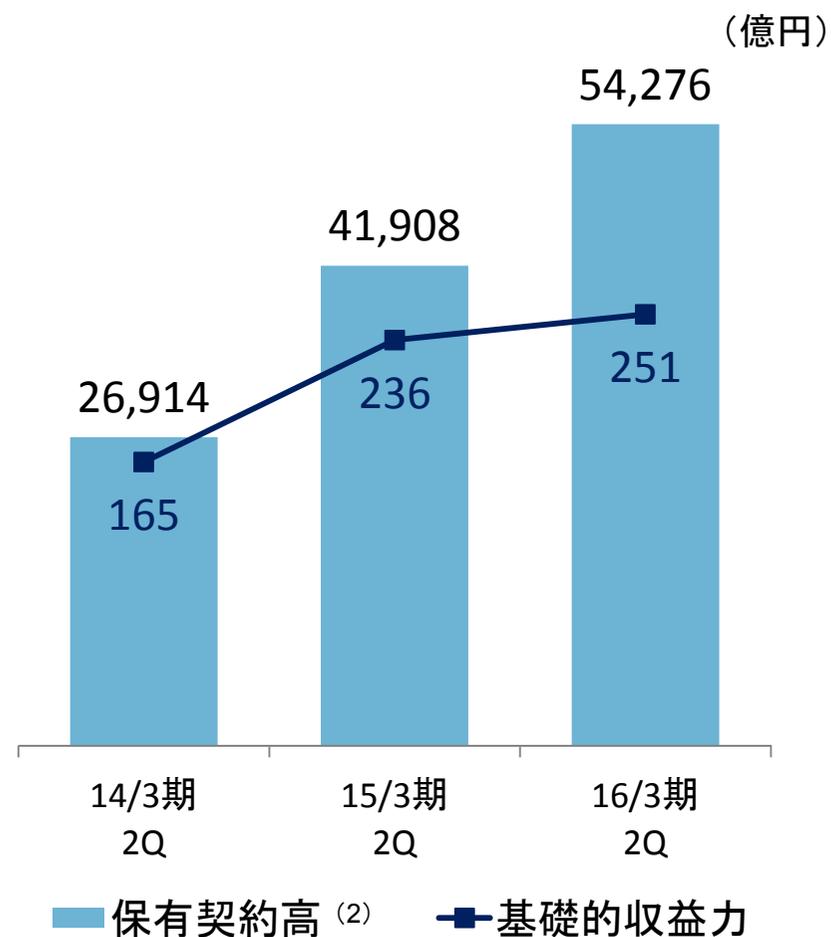
収支の状況

(億円)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計
経常収益	10,779	10,406
うち保険料等収入	9,558	9,919
うち変額商品	967	940
うち円建定額商品	1,487	1,604
うち外貨建定額商品	6,226	6,323
うち資産運用収益	1,220	486
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	68
経常費用	10,737	10,082
うち責任準備金等繰入額(△は戻入)	8,097	4,106
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(B)	7	281
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(C) (1)	95	△ 173
うち危険準備金繰入額(D)	86	△ 74
うち資産運用費用	31	2,446
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	18	-
経常利益(△は損失)	41	324
純利益(△は損失)	27	286
純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	236	251

(1) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

保有契約高と基礎的収益力



(2) 保有契約高は各期間の末日時点

- 危険差益が想定を下回ったが、運用収益が良好に推移し、税引前営業利益は約188百万ドル、純利益は約126百万ドルと、予算超過ペース。

主要業績

(百万米ドル)

	16/3期 2Q累計
生保事業	10.0
買収事業	73.9
年金事業	87.3
ステーブルバリュー事業	15.4
アセットプロテクション事業	9.9
コーポレート	△ 7.9
税引前営業利益 Pre-tax Operating Earnings	188.8
法人税等	△ 63.0
キャピタル損益(運用収支)	△ 158.6
キャピタル損益(金融派生商品損益)	159.5
当期利益	126.7

<参考>

	15/6末
為替レート(米ドル)	122.45

セグメント業績動向

【生保事業】

一時的な支出の増加、想定以下の危険差益と想定以上の解約により、営業利益は予算未達ペース。

【買収事業】

過去に買収した既契約ブロックの一部において、第1四半期に良好だった危険差益の反動が第2四半期にあり、営業利益はわずかに予算未達ペース。

【年金事業】

想定以上の運用収益の計上に加え、定額年金における良好な危険差益により、営業利益は予算超過ペース。

【ステーブルバリュー事業】

資産残高は減少したが、営業利益は予算なみの進捗。

【アセットプロテクション事業】

主力損保商品(主に車両保険)の好調な販売により、営業利益は予算超過ペース。

- (1) 米プロテクトィブの決算日は12月31日です。16/3期2Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年6月までの5ヶ月間の実績です。
- (2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

主要業績

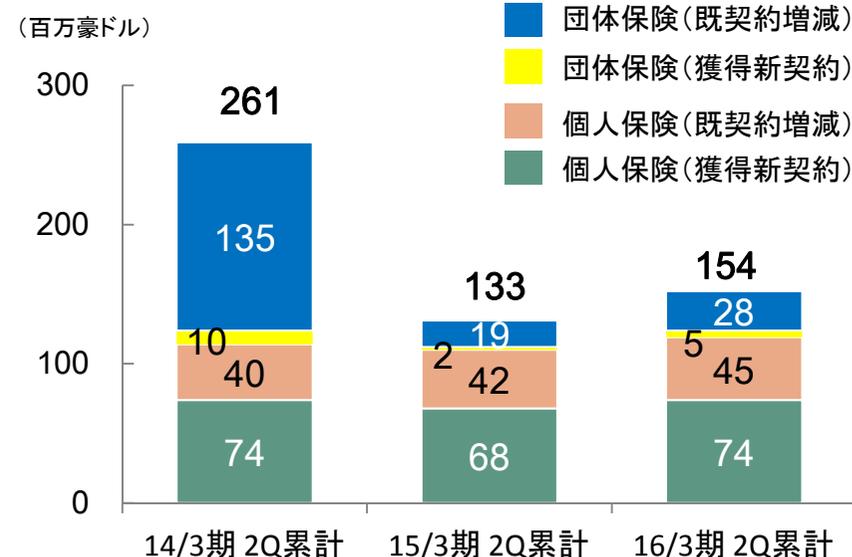
(百万豪ドル)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	1,585	1,626	+3%
うち保険料等収入 (2)	1,382	1,449	+5%
経常利益 (2)	96	75	△21%
純利益(A) (2)	71	56	△22%
修正額(B)	7	25	
うち負債割引率の変化	△ 9	0	
うち償却負担	10	10	
その他	5	15	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	78	81	+3%

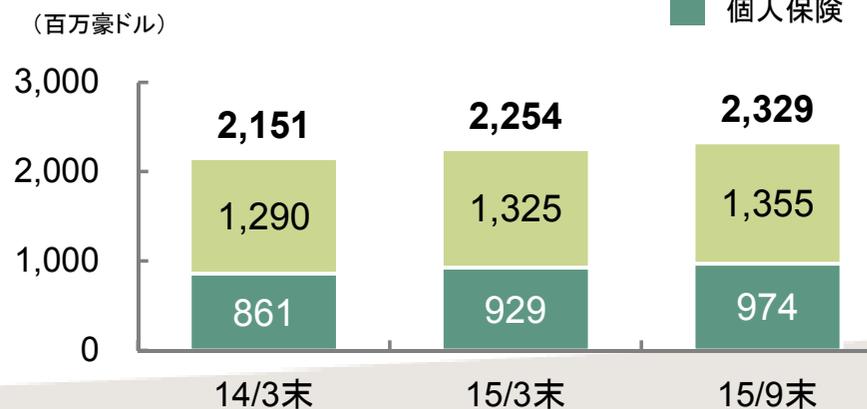
<参考>

	14/9末	15/9末
為替レート(豪ドル)	95.19円	84.06円

新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



(1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

第一生命グループ業績予想 - 2016年3月期業績予想

- 販売好調な第一フロンティアの保険料等収入の増加に伴い、通期の業績予想を上方修正。また、第一生命単体における順ざやの拡大を踏まえ、基礎利益の通期予想を上方修正。
- 連結当期純利益も通期の業績予想に対して高い進捗となったが、今後の金融・経済情勢の動向によって業績が変動する可能性があるため、現時点では業績予想を据え置き。

	15/3期	16/3期(予) ※2015/11/13 発表予想	増減	16/3期(予) ※2015/5/15 発表予想
連結経常収益	72,522	70,960	△ 1,562	67,730
第一生命単体	47,984	42,010	△ 5,974	41,240
第一フロンティア	21,575	16,770	△ 4,805	12,460
プロテクティブ(百万米ドル)	-	7,630	+ 7,630	8,890
TAL(百万豪ドル)	3,166	3,390	+ 223	3,440
連結経常利益	4,068	3,690	△ 378	3,690
第一生命単体	4,087	3,010	△ 1,077	3,010
第一フロンティア	△ 197	140	+ 337	140
プロテクティブ(百万米ドル)	-	340	+ 340	340
TAL(百万豪ドル)	184	150	△ 34	150
連結純利益⁽¹⁾	1,424	1,610	+ 185	1,610
第一生命単体	1,521	1,190	△ 331	1,190
第一フロンティア	△ 219	110	+ 329	110
プロテクティブ(百万米ドル)	-	230	+ 230	230
TAL(百万豪ドル)	131	100	△ 31	100
1株当たり配当金	28円	35円	+7円	35円

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	4,720	5,100程度	+379	5,100程度
第一生命単体	4,582	4,400程度	△ 182	4,200程度

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- 各社において新契約価値を積上げるも、金融環境の悪化を背景に、グループEEVは減少
- 第一フロンティア、TAL、プロテクティブ社のEVは増加(現地通貨ベース)

第一生命グループのEEV

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
EEV	57,796	56,265	△1,531
修正純資産	55,408	50,151	△5,256
保有契約価値	2,388	6,113	+3,725

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減	15/3期
新契約価値	1,371	1,405	+34	2,740

第一生命(単体)

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
EEV	57,008	54,898	△2,109
修正純資産	57,918	52,830	△5,088
保有契約価値	△ 910	2,067	+2,978

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減	15/3期
新契約価値	1,000	983	△17	1,981

第一フロンティア生命

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
EEV	2,527	2,661	+133
修正純資産	1,882	1,491	△390
保有契約価値	645	1,169	+524

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減	15/3期
新契約価値	295	327	+31	586

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

プロテクティブ

(億円)

	15/2/1	15/6末	増減
EEV	5,029	5,598	+569
修正純資産	3,517	3,794	+276
保有契約価値	1,512	1,804	+292

	14/1-6月 累計	15/2-6月 累計	増減	15/3期
新契約価値	-	22	-	-

15/2/1 EEV:

15/6末EEV・15/2-6月累計の新契約価値:

15/1末の為替レート(1米ドル=118.25円)を使用

15/6末の為替レート(1米ドル=122.45円)を使用

プロテクティブ(米ドルベース)

(百万米ドル)

	15/2/1	15/6末	増減
EEV	4,253	4,572	+319
修正純資産	2,974	3,098	+124
保有契約価値	1,278	1,473	+195

	14/1-6月 累計	15/2-6月 累計	増減	15/3期
新契約価値	-	18	-	-

TAL

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
EEV	2,378	2,281	△97
修正純資産	1,237	1,210	△26
保有契約価値	1,141	1,070	△70

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減	15/3期
新契約価値	75	73	△2	173

15/3期2Q累計の新契約価値:

15/3末EEV・15/3期の新契約価値:

15/9末EEV・16/3期2Q累計の新契約価値:

14/9末の為替レート(1豪ドル=95.19円)を使用

15/3末の為替レート(1豪ドル=92.06円)を使用

15/9末の為替レート(1豪ドル=84.06円)を使用

TAL(豪ドルベース)

(百万豪ドル)

	15/3末	15/9末	増減
EEV	2,583	2,713	+129
修正純資産	1,344	1,439	+95
保有契約価値	1,239	1,273	+34

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減	15/3期
新契約価値	79	86	+7	188

参考データ

第一生命グループ業績 - グループ各社の貸借対照表

	【第一生命】 (億円)	【第一フロンティア生命】 (億円)	【米プロテクトティブ】 ⁽¹⁾ (百万米ドル)	【豪TAL】 ⁽¹⁾ (百万豪ドル)	【その他】 ⁽²⁾ (連結調整仕訳含む) (億円)	【連結】 ⁽²⁾ (億円)
	15年9月末	15年9月末	15年6月末	15年9月末		15年9月末
資産の部合計	363,701	54,207	69,292	6,752	△9,546	498,888
うち現預金・コール	8,046	1,385	577	1,154	411	11,521
うち有価証券	304,334	51,325	51,463	2,894	△8,977	412,131
うち貸付金	28,943	-	7,399	3	14	38,021
うち有形固定資産	11,987	3	110	0	5	12,131
うち無形固定資産	827	15	2,684	1,221	△1,014	4,142
うちのれん	-	-	735	786	△1,004	557
うちその他の無形固定資産	220	0	1,933	433	0	2,952
うち再保険貸	55	737	176	83	△52	1,027
負債の部合計	332,909	53,453	64,509	4,663	△602	468,673
うち保険契約準備金	304,495	52,223	58,286	3,364	233	431,153
うち再保険借	4	38	256	330	△51	583
うち社債	2,157	-	2,226	-	-	4,883
うちその他負債	17,230	1,023	2,542	876	△305	21,799
純資産の部合計	30,791	754	4,782	2,089	△8,943	30,214
うち株主資本合計	11,519	471	5,680	2,089	△9,690	11,012
うち資本金	3,431	1,175	0	1,630	△2,545	3,431
うち資本剰余金	3,436	675	5,554	-	△7,612	3,299

(1) 米プロテクトティブ、豪TALの数値は、それぞれ米国、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。連結の際には、1米ドル=122.45円、1豪ドル=84.06円で、それぞれ円換算されております。

(2) その他および連結の数値には、本表に記載以外の連結各社に関する数値等が含まれております。

損益計算書⁽¹⁾

(億円)

	15/3期 2Q	16/3期 2Q	増減
経常収益	22,568	21,049	△1,518
保険料等収入	14,954	14,071	△882
資産運用収益	5,888	5,459	△428
うち利息・配当金等収入	3,885	4,046	+161
うち有価証券売却益	1,095	1,217	+121
うち特別勘定資産運用益	779	-	△779
その他経常収益	1,726	1,518	△207
経常費用	20,327	19,209	△1,118
うち保険金等支払金	12,745	13,631	+886
うち責任準備金等繰入額	3,018	267	△2,750
うち資産運用費用	585	1,624	+1,039
うち有価証券売却損	54	327	+273
うち有価証券評価損	5	50	+44
うち金融派生商品費用	29	246	+217
うち特別勘定資産運用損	-	355	+355
うち事業費	2,006	2,015	+8
経常利益	2,240	1,840	△399
特別利益	4	1	△3
特別損失	120	104	△16
契約者配当準備金繰入額	464	457	△6
税引前純利益	1,660	1,280	△380
法人税等合計	493	370	△122
純利益	1,167	909	△257

貸借対照表

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
資産の部合計	368,287	363,701	△4,586
うち現預金・コール	10,187	8,046	△2,140
うち買入金銭債権	2,597	2,449	△147
うち有価証券	306,733	304,334	△2,398
うち貸付金	30,292	28,943	△1,349
うち有形固定資産	12,032	11,987	△45
負債の部合計	332,774	332,909	+135
うち保険契約準備金	304,496	304,495	△0
うち責任準備金	298,409	298,567	+157
うち危険準備金	5,580	5,670	+90
うち退職給付引当金	3,894	3,872	△21
うち価格変動準備金	1,324	1,404	+80
うち繰延税金負債	4,138	1,900	△2,237
純資産の部合計	35,513	30,791	△4,721
うち株主資本合計	11,073	11,519	+445
うち評価・換算差額等合計	24,432	19,263	△5,168
うちその他有価証券評価差額金	24,886	19,715	△5,171
うち土地再評価差額金	△334	△342	△8

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書

(億円)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減
経常収益	10,779	10,406	△372
うち保険料等収入	9,558	9,919	+360
うち資産運用収益	1,220	486	△733
経常費用	10,737	10,082	△655
うち保険金等支払金	2,077	2,960	+883
うち責任準備金等繰入額	8,097	4,106	△3,990
うち資産運用費用	31	2,446	+2,414
うち事業費	476	510	+33
経常利益	41	324	+282
特別損益	△7	△12	△4
税引前純利益	33	311	+278
法人税等合計	6	24	+18
純利益	27	286	+259

貸借対照表

(億円)

	15/3末	15/9末	増減
資産の部合計	49,372	54,207	+4,835
うち現預金・コール	813	1,385	+572
うち有価証券	47,154	51,325	+4,171
負債の部合計	48,798	53,453	+4,655
うち保険契約準備金	48,116	52,223	+4,106
うち責任準備金	48,070	52,166	+4,095
うち危険準備金	1,203	1,128	△74
純資産の部合計	574	754	+179
うち株主資本合計	184	471	+286
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,665	△1,378	+286

損益計算書⁽¹⁾⁽²⁾

(百万米ドル)

	16/3期 2Q累計
経常収益	3,472
保険料等収入	2,130
資産運用収益	1,149
その他経常収益	193
経常費用	3,282
保険金等支払金	1,865
責任準備金等繰入額	929
資産運用費用	60
事業費	308
その他経常費用	118
経常利益	189
法人税等合計	63
純利益	126

貸借対照表⁽¹⁾⁽²⁾

(百万米ドル)

	15/2/1	15/6末	増減
資産の部合計	70,966	69,292	△1,674
うち現預金	463	577	+114
うち有価証券	53,287	51,463	△1,824
うち貸付金	7,333	7,399	+66
うち有形固定資産	111	110	△1
うち無形固定資産	2,712	2,684	△28
うち のれん	735	735	-
うち その他の無形固定資産	1,959	1,933	△26
うち再保険貸	202	176	△25
負債の部合計	65,412	64,509	△902
うち保険契約準備金	58,844	58,286	△557
うち再保険借	252	256	+3
うち社債	2,311	2,226	△84
うちその他負債	2,338	2,542	+203
純資産の部合計	5,554	4,782	△771
うち株主資本合計	5,554	5,680	+126
うちその他の包括利益累計額合計	-	△897	△897

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。当第2四半期より、米プロテクティブの財務諸表の組替えに際し、投資性商品の一部の保険料、保険金等の表示方法の変更を行いました。なお、経常収益、経常費用がそれぞれ同額減少するため、経常利益の額に変動はありません。

(2) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期2Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年6月までの5ヶ月間の実績です。

損益計算書(1)(2)

(百万豪ドル)

	15/3期 2Q累計	16/3期 2Q累計	増減
経常収益	1,585	1,626	+40
保険料等収入	1,382	1,449	+67
資産運用収益	99	14	△84
その他経常収益	104	162	+58
経常費用	1,489	1,550	+61
保険金等支払金	916	937	+20
責任準備金等繰入額	211	168	△43
資産運用費用	18	90	+72
事業費	287	301	+14
その他経常費用	55	53	△2
経常利益	96	75	△20
法人税等	24	19	△4
純利益	71	56	△15
修正利益 (Underlying profit)	78	81	+2

貸借対照表(1)(2)

(百万豪ドル)

	15/3末	15/9末	増減
資産の部合計	6,674	6,752	+78
現預金	924	1,154	+229
有価証券	3,070	2,894	△176
有形固定資産	1	0	△0
無形固定資産	1,235	1,221	△14
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	449	435	△14
再保険貸	116	83	△33
その他資産	1,326	1,399	+72
負債の部合計	4,641	4,663	+21
保険契約準備金	3,340	3,364	+24
再保険借	335	330	△4
その他負債	859	876	+16
繰延税金負債	106	91	△14
純資産の部合計	2,033	2,089	+56
株主資本合計	2,033	2,089	+56
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	402	458	+56

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

参考データ - 金融市場への感応度(2015年9月末、第一生命単体)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2015年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥9,400 (2015年3月末:¥8,900)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減※ (2015年3月末:2,600億円) ※その他有価証券区分:300億円の増減 (2015年3月末:300億円)	10年国債利回り 1.2%※ (2015年3月末:1.2%) ※その他有価証券区分:1.4% (2015年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 290億円の増減 (2015年3月末:310億円)	ドル/円 \$1 = ¥103 (2015年3月末:¥100)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

本資料の問い合わせ先
第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。